【基礎英語の教科書】うざいを意味するフレーズ19選

「うざい」と一言で言っても、人の口癖や行動にイライラさせられた時の「うざい」や、物の機能が不便なときの「うざい」、宿題や仕事が面倒臭いときの「うざい」などなど、「うざい」と感じるときのシチュエーションはさまざまです。「うざい」と感じた時に、適切な英語表現を使い分けられるようになると、かなりな英語上級者といえるでしょう。

1 人に対してのうざい

2 物に対してのうざい

3 面倒くさいときのうざい

4 気持ち悪いときのうざい

5 鬱陶しいときのうざい

6うるさいときのうざい

7 終わりに

1 人に対してのうざい

人に対して「うざい！」と感じてしまう時は誰にもあるものです。「この人うざい！」と言いたいときに便利な英語表現は以下の通りです。

annoying

「うるさい」「うざい」「イライラさせる」そんな表現の代表格がannoyingです。

例：”You are annoying!”

訳：あんた、うざい！

annoyingは形容詞ですが、動詞のannoyも同様に、うざい人などを表現する時に使えます。

例：”She always annoys someone with stupid questions.”

訳：彼女はいつもくだらない質問をして人をイライラさせている。

bug

bugは「虫」という意味が広く知られていますが、動詞には「人をイライラさせる」「うるさく悩ませる」の意味もあります。自分の回りを虫がブンブン飛んでうざい！という場面を想像すると、覚えやすいですね。

例：”Stop bugging me.”

訳：いい加減にして。

push one’s buttons

”push one’s buttons”は「（人を）怒らせる」という意味です。直訳すると「（人の）ボタンを押す」ですが、転じて「（人の）怒りのボタンを押す」ということを表します。

例：”He really knows how to push my buttons.”

訳：彼は私の苛立たせ方をよく知っている。

persistent

「しつこくてうざい！」というときには、persistentを使います。

例：”How persistent he is!”

訳：彼はなんてしつこいの！

persistentには「しつこい」だけではなく、「粘り強い」というポジティブな意味もあるので注意しましょう。

例：”If you make persistent efforts, you will be able to do it.”

訳：粘り強く頑張れば出来るようになるよ。

2 物に対してのうざい

すぐ故障する機械や、起動の遅いパソコンに対して「うざい」と思うときがありますね。物が思い通りに動いてくれず、「うざい！」と感じてしまうときの英語での表現方法です。

irritating

イライラさせられたときに、ネイティブ・スピーカーがつい口に出してしまう単語の一つがirritatingです。

例：This old PC is very slow. It is irritating.

訳：この古いパソコンは起動がとても遅い。イライラするよ。

irritatingは「イライラさせる」という意味ですが、変化形のirritatedは「イライラした」という意味になります。

例：“I am irritated by the noise.”

訳：その音にイライラする。

get on one’s nerves

神経にさわる、人の神経を逆なでする、というニュアンスでの「うざい」には、”get on one’s nerves”が使えます。nerveは「神経」という意味で、”get on one’s nerves”は「人の神経にさわる、人の神経を逆なでする」という意味です。

例：”A mosquito was in my bedroom last night. It was really getting on my nerves.”

訳：昨夜ベッドルームに蚊がいたの。すごくうざかった。

3 面倒くさいときのうざい

何かをしなくてはいけないけれど面倒くさい、心配事やトラブルがあって面倒くさい。そんな面倒くさいときの「うざい」を表現してみましょう。

bother

行動などを邪魔されて面倒くさいときは、botherを使います。

例：”Oh, bother it!”

訳：ああ、うざい！

ちなみに、よく使われる”I am sorry to bother you”というフレーズには「何かをしている人に、別のことで面倒をかけて申し訳ない」というニュアンスがあります。

hassle

何かをする際に、その手間暇が面倒くさい、うざいという場合はhassleを使います。”it’s such a hassle”という形にして使われることが多いです。

例：”I don’t want to move into any place. It’s such a hassle.”

訳：どこにも引っ越したくない。引っ越しって面倒くさいんだもん。

pain in the neck

直訳で「首の痛み」という意味のフレーズですが、”pain in the neck”を使って「面倒くさくてうざい」という感情を表現できます。日本語に「（悩み事などで）頭が痛い」という表現がありますが、これにかなり近いニュアンスです。

例：”Cooking every day is such a pain in the neck.”

訳：毎日料理をするのは面倒だ。

類似の表現に”pain in the ass”があります。実際に日常会話でも使われ耳にしますが、こちらは下品でくだけた表現となるため、あまり英語に慣れていないうちは使用を避ける方が無難です。もし使用する場合は、気心の知れた仲の良い友人に対してだけにしておきましょう。

また、”pain in the butt”というフレーズもありますが、”pain in the ass”よりは柔らかい表現です。どちらのフレーズも「お尻の痛み」という意味です。

例：”I’ve got to go there. It’s a real pain in the ass.”

訳：そこに行かなきゃ。マジで面倒くさい。

4 気持ち悪いときのうざい

人や物が不快だったり気味が悪かったりして、気持ち悪いときの「うざい」を表現できる言葉もあります。

disgusting

disgustingは不快感や嫌悪感を表すときの表現です。人に対しても物事に対しても使えまる便利な言葉ですが、きついニュアンスがあるので注意しましょう。

例：”He is disgusting!”

訳：あいつ、うざい！

例：”I want to block disgusting ads from this web site.”

訳：このサイトのうざい広告をブロックしたい。

creepy

creepyには「気味が悪い」、「うるさくて不快な」という意味があります。

例：”She calls me more than 10 times a day. That’s creepy.”

訳：彼女は１日に10回以上も電話してくる。気味が悪い。

5 鬱陶しいときのうざい

どんより曇った鬱陶しい天気や、人が多過ぎて鬱陶しいなど、鬱陶しいという意味での「うざい」を表す英語表現もあります。

gloomy

gloomyは「鬱陶しい」「憂鬱な」等の意味で、人の他に天候や場所に対しても使える表現です。

例：”I think he is gloomy.”

訳：彼のことを鬱陶しいと思っている。

例：”It is gloomy weather.”

訳：鬱陶しい天気だ。

depressing

depressingは「気のめいるような」「（天候などが）鬱陶しい」という意味で、gloomyと非常によく似ています。

例：”This rain is really depressing.”

訳：この雨はとても鬱陶しい

尚、depressingではなくdepressionを使って”She has depression”とすると、「彼女は鬱病だ」という意味になります。間違って「彼女は鬱陶しい」と訳してしまわないように気を付けましょう。

be sick of

be sick of は「～が鬱陶しい」「～にうんざりいている」という意味です。

例：I am sick of too many people.

訳：人が多過ぎで鬱陶しい。

例：I am sick of being told off by my mother.

訳：僕はママのお説教にうんざりしている。

6 うるさいときのうざい

音がうるさい、人が騒がしい、口うるさい。「うるさくてうざい」ときの表現です。

noisy

「うるさい！」と言いたいとき、“Noisy!”の一言で表現することが出来ます。noisyは人・場所・物に対して使える便利な表現です。

例：”What a noisy guy he is!”

訳：何てうるさい男なんだ！

loud

noisyと似ており、「うるさくて、うざい！」というときに使えます。loudには「（音などが）大きい」という意味の他に「不快な、イライラさせる」という意味もあります。

例：”I can’t stand that loud voice.”

訳：あの大声には我慢できない。

nagging

noisy、loudは音などがうるさいことを表しますが、naggingは「（人が）口やかましくてうざい」ことを表現する言葉です。

例：”My wife is always nagging at me.”

訳：妻は口やかましい。

fussy

「細かいことにこだわってうるさい」というときにはfussyを使います。

例：”My boss is fussy about details.”

訳：私の上司は細かいことにこだわってうるさい。

fastidious

fastidiousは「口うるさい」という意味と「（何かに）こだわってうるさい」という意味を持ちます。

例：”She is fastidious about her food.”

訳：彼女は食べ物にうるさい。

fastidiousとfussyはほとんど同じ意味ですが、fastidiousには「潔癖な」という意味がありますが、fussyにはありません。

例：”My friend is a fastidious girl who vacuums three times a day.”

訳：友人は1日に3回も掃除機をかける潔癖な女性だ。

終わりに

「うざい」という感情は決してポジティブなものではありません。「うざい」と感じても、口には出さない方が良い場面も多々あります。

その一方で、状況などを改善するため、ハッキリと伝えなければならない場面もあります。ネガティブな感情だからこそ、誤解を招かない様に気を配り、シチュエーションに応じた適切な表現を選びたいですね。

いざというときのために、様々な「うざい」の表現方法をしっかりと身に付けておきましょう。